

2019年 小学生国際こども会議 実施計画

2019年10月18日更新

NPO 法人 スプラタルカ

趣 旨

本国際会議を通して、参加国の子どもどうしが相互に自由に意見を交換し、また、お互いの歴史や文化や習慣についての理解を深めることで、国を越えた相互理解を目指す。同時に、恩納村及び県内の子ども達が世界へ目を向け活躍する人材育成の機会とする。

国際こども会議 概要

1. 会議の運営

主催：「国際こども会議実行委員会」、NPO 法人 スプラタルカ

後援：恩納村教育委員会

2. 開催期日（予定）

2019年10月22日（火曜日）

日本時間 14:30 – 16:30

インドネシア 12:30 – 14:30

台湾 13:30 – 15:30

マレーシア 13:30 – 15:30

3. 会議参加者（4カ国） *各国の希望者（有志） *小学5・6年生相当

① 日本： 恩納村及び県内在住小学5・6年生（20名～40名程度）

② インドネシア：SDN Ungaran 1 小学校（ジョグジャカルタ）

<https://www.facebook.com/sdnungaran1/>

③ 台湾： 新橋國民小學

<https://www.sces.tn.edu.tw/>

④ マレーシア： Minden Heights Primary School

<https://www.facebook.com/PIBK-SK-Minden-Height-Penang-141835145835741/>

4. 会議内容

テーマ：「環境のために取り組んでいることを教えて！」

（地球にやさしいこと、してますか？）

“What are your school or community’s approaches to environmental problems?”

（Are you doing something that is kind to the earth?）

*各国の学校や地域での環境問題についての取り組みを紹介し合い、新たな発見や理解につなげる。

5. 会場

日本： 恩納村博物館 1階研修室
 インドネシア： 学校内
 台湾： 学校内
 マレーシア： 学校内

6. 会議形式

- ビデオ通話（Zoom）を使った4ヶ所同時中継（大型スクリーンに映す）
- 会場を解放し、見学者は会議を自由に見学できる。ただし、参加国の状況によっては閉じた集まりであっても構わない。（日本側は自由見学とする。）

7. 会議の目的

国を越えた普遍のテーマである「環境問題の取り組み」について、自ら考え、その上でお互いの取り組みや考えを交換することで、本テーマについての理解を深める。

また、他国の子ども達の活動を知り、そして議論することで、国による取り組みの違いや共通点を実感し、世界についての理解を深める。

さらに、このような活動を通して、ボランティアスタッフとしての参加も含め、ジュニアリーダーの育成を促す。

国際会議のプログラム構成

*日本時間

| 場面 | 時間 | 会議の流れ | 会議の詳細 |
|------|---------------------|------------------------|--|
| あいさつ | 14:30-14:32 (2分) | Ice Break タイム！ <全員> | 参加者の緊張をほぐす。 ● 各国のことばで一緒にあいさつを行う。 *各国のあいさつを一緒に行う。 |
| | 14:32-14:33 (1分) | 司会者のあいさつ <主催国司会者> | 主催国（日本）の司会者が、会議開始のあいさつを行う。 |

| | | | |
|--|---|---|---|
| <p style="text-align: center;">各国の学校紹介クイズ</p> | <p style="text-align: center;">14:35-14:55 (各 5 分×4)</p> | <p>自分の学校についてのクイズを出す（日本、インドネシア、台湾、マレーシアの順） ＜各国担当者＞</p> | <p><u>自分の学校の特徴的な事柄をクイズ形式で出題する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分の(国の)学校について特徴的だと思ふことを題材にクイズを <u>1個出す</u>。 ● 他のグループ(国)はクイズの答えを相談し、答える。 ● 全てのグループ(国)が順番に出題と解答をする。 |
| | <p style="text-align: center;">14:55-15:00 (5分)</p> | <p>休憩</p> | <p>5分間の休憩（トイレ休憩）</p> |
| <p style="text-align: center;">具体的な取り組みの紹介</p> | <p style="text-align: center;">15:00-15:40 (各 10 分×4 : 40 分)</p> | <p style="text-align: center;">テーマに沿った各学校や地域の取り組みを紹介する。 ＜グループ単位＞</p> <p style="text-align: center;">日本、インドネシア、台湾、マレーシアの順番</p> | <p><u>主題 「環境のために取り組んでいることを教えて！」</u>というテーマのもと、それぞれの学校や地域の、環境改善に向けた具体的な対策や活動、取り組みなどを<u>ひとつ紹介</u>する。 各グループ(各国)は、写真や図などの資料を見せながら説明する。</p> <p><u>5分間の紹介の後、他の国からの質問や意見、感想を聞く時間を5分間設ける。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境に対する取り組みは事前に<u>各国1個</u>を決定し、準備しておく。 ● 意見や感想の発表は、各国の発表後に募る。 ● 発表者は英語で発表してもよいし、日本語で発表してもよい。(スタッフが通訳する。) ● <u>質問や意見は、国を指定せず、自由に行う。</u>(挙手方式で、全体司会者がグループ(国)を選び、グループ内ではグループ側が発表者を選択する。) ● 司会者が時間を見ながら、適当なところで、次の国の発表に切り替える。 |

| | | | |
|----------|----------------------|--|---|
| その他の意見 | 15:45-15:55 (10分) | その他の 取り組みなどの発表 (その他の意見や 感想を求める。) ＜希望者＞ | 司会者が全体を通して、まだ紹介していない取り組みや活動、提案などの発表を求める。 ● <u>国を指定せず</u> 、個人から自由に意見を取る。 ● <u>会場（観客）からの意見や質問</u> も取り上げる。 ● 時間を見ながら、適当なところで切り上げる。 |
| 終わりのあいさつ | 15:55-15:56 (1分) | 会議をまとめる ＜全体司会者＞ | 最後に会議を簡単にまとめる。 |
| | 15:57-16:00 (3分) | 国際会議終了 のあいさつ ＜各国司会者＞ * ビデオ通話の終了 | 各国の司会者によるお別れの言葉で国際会議終了。 * みんなであいさつを返そう！ * ビデオ通話を終了する。 |
| | 16:00-16:05 (5分) | 休憩 | 5分間の休憩（トイレ休憩） |
| 全体のまとめ | 16:05-16:20 (15分) | 本会議のまとめ 感想の発表と ワークシート記入 ＜全員、観客＞ | 今日の会議について感想を述べる。（参加者全員）また、 <u>ワークシート</u> に記入してまとめる。 ● 各会場（各国）別々に行く。（ビデオ通話は終了している。） ● 今回の会議について、参加者全員から意見や感想を取る。 ● <u>会場（観客）からも意見や感想</u> を取る。 ● ワークシートに自分の感想を書き込む。 |
| | 16:20-16:21 (1分) | 国際会議終了 のあいさつ ＜全体司会者＞ | 会議の終了を伝える。 * 国際会議全行程終了 |

準備（事前研修）

1. **児童各自に**、「環境のために取り組んでいることを教えて!」のテーマに基づいて改めて考えてもらい、それぞれの活動や経験について、ワークシートに記入してもらう。（事前研修までの宿題）
 - 活動や経験の内容は、学校でのことでもよいし、地域でのことでもよい。
 - 出来るだけ具体的に記入する。

- 回答は、複数あってもよい。
 - 日本語での記入でよい。
2. 他の国の児童に紹介したい活動を、ひとつ選択する。
 - 各自がワークシートに記入した取り組みの中から、他の国の児童にぜひとも紹介したい取り組みを一つ選ぶ。
 - 選んだ取り組みを紹介するため、資料を作成する。図や写真を用いて分かりやすいものとする。出来れば、英語の説明も加える。
 - 相手が分かりやすく、また通訳しやすいように、短い文章で説明する。
 3. 地域と学校の紹介資料を作成する。
 - 地域紹介は、お互い事前（会議開催前）に紹介するので、そのための資料を作る。（会議中には紹介する時間がない。）
 - 地域（沖縄）の写真と学校の写真を選択する。
 - 紹介用の図も作成する。できれば英語の説明も加える。
 - 作成した資料は、事前に他のグループ（国）にファイルとして送信する。
 - それぞれの側では、事前研修として、送られてきた他のグループ（国）の地域や学校を紹介資料を使って学ぶ。
 4. 日本の学校の興味深い事柄のクイズを準備する。
 - グループ（国単位）としてひとつ作成し、その発表を準備する。
 - 必要であれば、写真や図も用意する。
 5. 司会（進行役）を一人もしくは二人決めておく（各国） ＊児童
 - 自分たちの言葉で構わない。会議の進行を担当する。（通訳を前提。）
 6. クイズを出す担当者を決める。（複数）
 - 自分の学校についてクイズを出題し、他のグループからの回答を聞き正解を発表する。
 - 時間があれば質問や感想を聞く。
 7. 環境についての取り組みを紹介する担当者を決める。（複数）
 - みんなで選んだ環境についての取り組みを発表する。

交流中の約束事

1. 相手の発表には、必ず質問や意見を返す。
2. 相手の意見や質問を理解しようと努める。質問や意見ではない、安易な価値判断や非難は行わない。（悪い例：「それは間違い！」「それはおかしい！」）

意思疎通の流れ

1. 原則、お互いの母語で会議を進め、通訳を介して意思疎通を図る。
2. 余裕があれば、自分の意見を英語で用意する。
3. 意思疎通の流れは以下の通り。
「発表者（母語）」→「通訳（英語）」→
→<インターネット>→「通訳（母語）」→「相手児童」

「質問者（母語）」→「通訳（英語）」→

→<インターネット>→「通訳（母語）」→「相手児童」

補 足

1. 参加する児童は、英語の能力によって選別されることはない。会議のテーマに関する考えや積極的に参加する意思をもとに選考する。

国際会議開催までの日程

1. 9月2日（月）～10月11日（金）
参加児童・ボランティアスタッフ 募集期間（募集範囲：沖縄本島全域）
*参加希望者は、研修前にワークシートを記入しておく。
2. 9月28日（土）9:00－12:00 第一回実行委員会開催
*ボランティアスタッフを含む。
3. 10月12日（土）9:00－12:00 第1回事前研修（午前の部）
（意見のまとめ、資料作成）
*午前の部終了後にみんなで一緒に昼食を取ります。昼食は、隣の道の駅「なかゆくい」でも購入可能。
10月12日（土）13:00－16:00 第1回事前研修（午後の部）
（資料完成、発表練習）
4. 10月22日（火）12:30－14:20 第2回事前研修（発表練習、最終確認）
5. 10月22日（火）14:30－16:30 本会議開催

問い合わせ先

特定非営利活動法人 スプラタルカ

〒904-0305 沖縄県読谷村都屋 369 代表：本田勝也

info@supratarka.org

<https://www.supratarka.org/>

<https://www.facebook.com/supratarka/>

Supratarka

<https://www.supratarka.org/>

info@supratarka.org

